

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	白馬高校魅力づくり事業
事業主体 (連絡先)	白馬村 0261-72-5000
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業 (8) そのたの元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	2,494,800円 (うち支援金: 1,995,000円)

事業内容

平成28年度から観光国際課を新設し、全国から生徒を募集する白馬高校の魅力を伝える30分のテレビ番組を制作し、平成27年12月26日(土)16:00から(株)長野放送で放送した。

放送された番組をDVD化して、村や学校に問い合わせのあった方に学校案内と併せて送付し、白馬高校に対する取り組みは、長野県・長野県教育委員会・白馬・小谷村が協力・連携して実施していること、白馬高校は子供を安心して進学させられる学校であることを保護の方に理解していただくためのツールとして、生徒の募集活動に活用した。また、DVDは白馬高校の将来を考える会の委員に配布し、白馬高校のPR活動に役立てていただいた。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

番組を見て、地域高校存続のための地域ぐるみの取り組みを知ってもらうことで、県教委の高校再編基準に抵触したにもかかわらず、存続することとなった白馬高校に対する県民理解が得られるとともに、白馬高校への興味や関心を持ってもらうことができた。白馬中、小谷中からの入学者が増加し、県内の他地域からの入学者も5名あった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

番組放送を契機に、引き続き白馬・小谷村両村で県教委と連携しながらさらに白馬高校魅力づくりのため、様々な取り組みを充実させ、地域に高校があることで、将来にわたって活力あふれる地域づくりを推進して行く。



【番組エンディング】

【目標・ねらい】

- ①白馬高校入学者数の増加
- ②白馬高校存続への理解

※自己評価【A】

【理由】

後期選抜の志願者数は昨年の44名から55名に20%以上増加し、入学者数も66名からほぼ定員近い76名となった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)